

機能食品通信

第27号

発行(株)機能食品研究所

■今回のテーマ

・皮膚測定会場の内覧会を行いました。



機能食品研究所、梅田です。いつも大変お世話になっております。

12月に入り、寒さが厳しくなっております。皆様も多忙とは存じておりますが、どうかお身体にはお気を付けてください。

「最近のイラスト、梅田さんが書かれていたのですね。」「現在、資料を作る時には有料の素材集からイラストを探して使っています。私も自分でイラストを作ってみようかと思いましたが、「風邪などに気を付けてくださいね。」「三重大学開発の痒み測定装置がテレビに出ていましたね。」というお便り・メール内の追伸・お言葉をいただきました。こうやって皆様からコメントを寄せていただけます事、心から感謝しております。

■皮膚測定会場の内覧会を行いました。

11月22日(火)の朝、自宅のビーグル犬の顔を見ながら「あかきたな〜♪はまやらわ〜♪」と発声練習をしていた梅田。この日は【二二

ユーアルした皮膚測定会場の内覧会(三重大学構内)でした。茶話会(わかい)と違い『先生の講演』や『先生を囲んでお食事をしながらの談話』は無く、内覧会が全てご説明をしますため「あかきたな〜♪はまやらわ〜♪」と声のコンディションを整えていたのです。

内覧会は毎時00分開始、所要時間45分というタイムスケジュールで実施しました。

まずは00〜05分の5分間で挨拶をし、05〜35分の30分間で皮膚測定機械のデモンストレーション、最後に35〜45分の10分間で質疑応答をし、完了です。そして15分後には時計の針が00分を指し、次の部が開始です。

せっかくお越しいただきました皆様へ、じっく説明したいため、各時間6名以内の少人数で行いました。皆様には、USJのアトラクションのように、『ツアーコンダクター梅田』による説明とデモンストレーションを観ながら次々と皮膚測定機器を巡っていただきました。ツアーコンダクターとして最適な服装を考えましたが「私が着た時だけ、なぜか割烹着を着ているように見える白

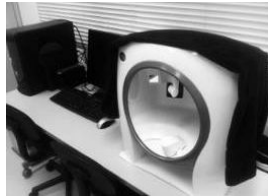
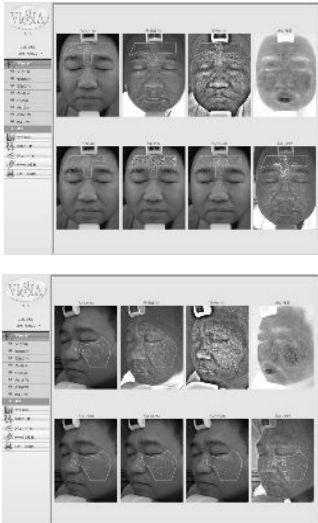


衣のイメージ参照』で登場したら真面目なのか笑わせようとしているかコン
セプトが不明になってしまうので、無難に『スーツ』になりました。

当日、お越しくださいました皆様、予定が
合わないから次の機会に申し込みますとい
うご連絡をくださいました皆様、機器デモン
ストレーションのご支援に駆けつけてくだ
さいました株主インテグラル 吉田様に深く
お礼申し上げます。



さて、このデモンストレーションですが『皮膚画像自
動解析システム』から行いました。顔の写真を撮影し、
パソコンでの画像解析にてシミ、かくれシミ、毛穴、
メラニン、ポルフィリンなどを計測出来る装置です。
私の顔写真で作ったパネル
を見ていただき、撮影OKの
拳手をしてくださいましたかた
の『お顔』でデモンストレー



ション撮影・解析をさせていただきました。

次は『肌の保湿（角層水分量）』です。皮膚表面の「
ンダクタンス（伝導度）にて水分保持量を見ます。水
分を含んでいればいるほど電気が流れる量が増えます。
微弱な電流なので、ピリツとした痛みなどは一切あり
ません。

『バリア機能（経表皮水分蒸散量）』は、皮膚から蒸
発する水分量を見ます。バリア機能が損なわれると皮
膚から水分が蒸発し、水が逃げる（蒸発する量が増えま
す。

『肌表面の油（油分量）』は、弊社では2種類使っ
ております。どちらも原理は同じでして、皮脂を吸着
するテープを皮膚に貼り付け、テープに付いた皮脂の
「量・にじみ具合」を機械で数値化・目視判定します。
平常時の皮脂量だけでなく、洗浄後30分間で皮膚表



面に出てくる皮脂を計測する事も出来ます。

『肌の張り(粘弾性)』は、吸引装置とセンサーにより、皮膚の硬さや弾力性・伸展性を見ます。筒状のセンサーを肌に押し当て、ポンプで吸い上げます。吸い上げた時に皮膚が伸びるスピード・長さや、開放した時の戻るスピード・長さを使って自動計算します。

『等倍・拡大写真判定』は、皮膚科専門医の認定を受けた医師が、乾燥・紅斑・肌理きめなどをスコア化して評価します。

角質の傷み(いたみ)を例にしますと、「0:なし(落屑)からくせつ(無し) 1:軽微(点状の落屑) 2:軽度(鱗状の落屑) 3:中等度(膜状の落屑) 4:重度(全体に落屑)」という5段階基準に沿って判定を実施します(1の号参照)。たとえば被験物質のクリームを使う前は「4:重度」だったのが、使用4週後に「2:軽度」になったと評価したり、数値データからプラセボ(対照)との差を確認す



る事もできます。

『肌表面のpH(ペーハー)』は、肌を計測出来るよう平坦な形になったガラスプローブを肌に押し当て計測します。酸性・中性・アルカリ性の度合いが数値で出てきます。



以上が、機器説明でした。他にも様々な機器がございますので、ご興味のある方は梅田までお問い合わせください。

この日ですが、機器の測定デモンストレーションを30分間かけてじっくり実施したかったため、機能食品研究所の特色についての説明時間は設けず、お持ち帰りいただく『機器説明の資料』の空いたスペースに以下の通り『アツ』の特色を記載するのみにしました。

1. 第三者評価をする会社である機能食品研究所は、お客様の「正確な臨床試験データが欲しい」「良い結果を出すために試験計画立案の時点から親身になってサポートして欲しい」というお気持ちにお応えします。お客様と弊社の二人三脚でゴールを目指します。

2. 試験結果についての論文執筆・投稿・雑誌記事作成などもお請けしております。お客様は「こうして欲しい」「この理想を叶えてください」

だけで良いのです。

3. 何事も入念な準備が結果に大きな影響を与えます。「初期値が綺麗に揃つと良いな」「この被験物質の効き目が出やすい方々で集めたいな」というご期待に応えます。

4. 同じ道具・機械・用具を使っても測定者の違いによる誤差が生じます。その問題を解決するためのノウハウと熟練の技術が有ります(ノウハウは秘密です)。

5. 商品の開発をされている方の「早く結果を知りたい」というお気持ちに応えます。特急料金はかかりますが、試験完了から数日以内の速報提出も可能です。

6. お客様が自社で測定されると、機器数や測定内容の項目数が多い場合、精度管理が更に大変です。専門業者である弊社なら項目数17の実績が有ります。

7. 項目数が多い場合、5分で1名の測定をしたとしても1日1000名を超えるデータを取得するのに8時間以上かかってしまいます。

弊社では項目数に関わらず精度を保ちながら1500名の測定も可能です。

以上、内覧会実施内容のご報告でした。

次は春頃にアンケート開催をしようと思っております。

【Coms】International Symposium for Sustainability by Engineering at MIU(12月1～20日)にて、痒み測定機械について発表していただきました。ありがとうございます。この技術は、弊社も一緒に研究をさせていただいております。発表者 三重大学 工学部ナノセンシング研究室様、同 医学部 皮膚科様、同 臨床創薬研究学講座様、同 附属病院臨床研究開発センター生物統計部門様

【news】TBS系列で放送の「週刊!健康カレンダー カラダのキモチ」(12月11日放送)にて、痒み測定機械掻破行動計測機をご紹介いただきました。ありがとうございます。ご出演 三重大学医学部 皮膚科 教授 水谷先生、同工学部 ナノセンシング研究室 准教授 野呂先生

【news】年末年始12月29日(木)～1月3日(火)は休業いたします。お急ぎのご用事がございましたらご対応可能ですので、本社TEL 059-253-8091 またはメール info@sk-lab.co.jpまでご連絡ください。

回覧・印

最後のページまでお読みいただき、ありがとうございます。差し支えが無ければ回覧いただける幸いです。